

自ら学び始める人たちの秘訣

2022・11・21 校長 重枝一郎

学校生活では、みなさんの大部分は同じ経験をするようになります。ところが同じ経験をしなくても、自ら問いを見出して学び始める人とそうでない人がいます。一体何が違うのでしょうか？

先日、ある大学の部活動の話を聞きました。知っての通り、コロナ禍は部活動にも大きな影響を与えました。そしてこの影響は、マイナス影響という話で捉えられることが多いと思います。ところが、この大学の人の話では、このピンチが「**学びの出発点**」になったということです。

例えば、この部活動のキャプテンは、練習時間や方法に制限がある中でどうしたら効果を生み出す練習になるのかを考えるきっかけになったと言います。これまで通りだったらおそらく考えなかったとも言っていたそうです。そこでその人は、同じ状況に置かれた全国の学生に対して、自らの問いを発信し、練習方法等のリサーチを行い、自分たちの練習に取り入れたというのです。

本校の生徒たちにもこういうマインドをもっている人が多くいると思います。実際、本年度も、生徒会の女学院祭の取り組みも「**学びの出発点**」になっていたと思います。

自ら学び始める人たちに共通する特徴はあると言います。以下に、**自ら学び始める人たちに共通する特徴**を3つ挙げます。

- 1つ目は、目の前のことに対して、なぜ？どうして？などと問いかけて「思考を繰り返す力」。
- 2つ目は、自らの行動や考えを振り返り「内省する力」。
- 3つ目は、**予定通りいかない状況を乗り越えて「やり遂げた経験がある」。**

このことは、みなさんの一日の大半を占める教科の授業において、「問い（自問自答）」「振り返り（レビュー）」の重要性を示しています。確かに今の時代を生きる者として、一度学んだ答えだけでは生き抜けない時代だと実感しています。ちなみに私自身は、1つ目2つ目は学生時代うまくできていなかったと思います。でも、3つ目については仲間の力を借りながらやっていたように思います。

日本のトップ企業のトヨタの「**トヨタのなぜ5回**」を聞いたことはありますか？この「5回のなぜ」を新入社員の時から徹底して叩き込まれるといます。

- 例えば、「なぜ不良が起きたんだ？」→「設備が故障していたから」
「なぜ故障していたんだ？」→「点検が計画通りではなかったから」
「なぜ計画通りに行われなかったんだ？」→「・・・だから」
(最低5回続く)・・・

普通「なぜ2回」くらいのところを「なぜ5回」を必ず行くと、本当の原因が見えてくるといいます。この「なぜ5回」をするということは、上に書いた「**自ら学び始める人たちの特徴**」につながるといえます。

余談ですが、20年前の話になるのですが、私もこの「トヨタのなぜ5回」を参考にワークシートをつくって、生徒に定期テストの振り返りをさせていました。

例えば、「なぜテストの点数が悪かったのか？」→「マンガばかり読んでいた」
「なぜマンガばかり読んでいたのか？」→「計画表を作っていなかった」
「なぜ計画表を作っていないのか？」→「面倒くさいから」
「なぜ面倒くさいと思うのか？」→「テスト勉強が楽しくないから」
「なぜ楽しくないのか？」→「ガミガミ言われることが多いから」
「なぜ言われるのか？」→「自分から積極的に取り組んでないから」
「ではどうする？」→「（次への取組目標）」

さあ2学期期末考査へ向けて、みんな個として一皮むけてよう！